

# 令和4年度事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

## ◇海王丸パーク◇ (面積:約10.0ha)



## ◇富山新港臨海野鳥園◇(面積:約4.6ha)



## ◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇(面積:約16.5ha)



令和4年度は、コロナ禍で中止していた海王丸の総帆展帆を約2年ぶりに再開し、予定より1回多い11回実施した（8月6日「海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念イベント」開催時に追加実施）。

また、海洋教室は宿泊1団体を含む15団体を受け入れ、春・夏・秋の大型自主イベントも予定どおり開催するとともに、周年記念に合わせ、6月の記念式典をはじめ、様々な関連イベントを5～10月にかけて射水市や関係団体等と協力して実施した。海王丸パークへの入込数は、前年度から約5割増となる85万3千人（過去最高を記録した令和元年度の約7割）にまで回復した。

当財団では、次期（令和5～7年度）海王丸パーク・野鳥園及び新湊マリーナの指定管理者の指定を引き続き受けた。令和5年度はコロナ感染防止対策の方針が大きく見直されたことから、来園者数もコロナ禍前と変わらない状態に戻ってくるとみられ、引き続き、富山県、射水市及び関係団体と連携して、船海王丸の保存・公開や各種イベントの開催等を通じ、雄大な景観を誇る海王丸パークや、日本海側有数の規模を誇る新湊マリーナの魅力の向上と発信に努めていく。

## I 海王丸パークの管理運営

### 1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

#### (1) 植物管理

- ・芝管理（約1.9ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

#### (2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修
- ・「展望広場」の供用（H30.4月～）

※利用サービス向上の観点から、雷・強風・大雨注意報発令時の閉鎖を見直し、R4.11月からは大雪・風雪注意報発令時や12m以上の風が続く場合に限り閉鎖し、開放機会を増やした。なお、開放・閉鎖の案内はHP、園内案内看板3箇所所周知



(展望広場)

### 2 日本海交流センターの管理運営

#### (1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① これまでの「世界の帆船模型展」に加え、令和4年度から新たに「海王丸関係資料等の展示」、「展示用パネル」を常設し、常設展示物の充実を図った。



(海王丸関係資料等の展示)



(展示用パネルの常設)

- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟
  - ③ 「きららか射水」の紹介
  - ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
  - ⑤ 「わたしたちと海」
- (2) 施設の利用促進  
研修室の会議等への利用、談話室の賃貸
- (3) 館内の清掃、機械警備等

### 3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

#### (1) 法定検査等

- ① 船舶安全法にかかる検査 第1種中間検査（毎年） 令和4年7月6日
- ② 消防設備保守点検 令和4年9月7日、令和5年3月1日

#### (2) 日常の保守点検整備

- ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
- ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
- ③ 船体各部の発錆部の補修等

#### (3) 船体整備等

- ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
- ② セイルの取付け及び取外し
- ③ 帆装艀装整備
- ④ 電灯改修
- ⑤ 非常用発電機整備

#### (4) 災害防止

船内防災センターにおける24時間集中監視の実施

### 4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

有料乗船者のうち、希望者に対してはロケットカードを配布した。

#### (1) 一般公開

強風のため4月29日、降雪や積雪のため12月19日・23～27日、令和5年1月27日は、公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間（4月9日～10日、11月12日～12月2日、2月15日～3月10日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～8日、4月11日～7月15日、 9月1日～10月31日 3月11日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月16日～8月31日	9時30分～18時
ウ	11月1日～2月14日	9時30分～16時30分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のペア

③ 乗船者数 56,307人 一般公開以来の延乗船者数 2,222,090人

年度	乗船者数
平成30年度	60,958人
令和元年度	69,050人
令和2年度	27,996人
令和3年度	31,940人
令和4年度	56,307人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆の実施

10回予定のところ、1回多い11回実施（8月6日「海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念イベント」開催時に1回追加）。

約2年ぶりに総帆展帆を再開したことで、ボランティアの参加が減ったことや、新たにフルハーネス型安全帯の導入で作業にこれまで以上に時間を要したこと等により、安全面を重視し15～20枚程度の展帆に抑えていたが、年度最後の11月6日に1,210日ぶりとなるフルセイル（全29枚を展帆）を達成した。



(11/6 総帆展帆)

② ボランティアの育成

年度始めに新聞紙上等でボランティア不足が大きく取り上げられたこともあり、新規ボランティア数は42人と、過去10年で最も多い新規登録があった。

また、富山高等専門学校の方のご協力により、同校から3年ぶりに3名の生徒が新たにボランティア登録をした。

ア ボランティア登録者数（令和5年3月末現在）

区 分	人 数		
登録者数	男 473人	女 289人	計 762人

イ 「ボランティアの集い」

日時：令和4年12月3日 11時～13時

場所：クロスベイ新湊（2階 iCN ホール）

参加人数：57人（来賓を含む）



（ボランティアの集い）

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆4枚を展帆。8回実施

4月8日、4月29日、5月3日、6月26日、7月17日、8月11日、  
9月11日、10月23日

満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。4回実施

5月4日、7月18日、8月11日、11月6日

(4) ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等

- ・帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載。
- ・平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開。
- ・令和2年4月から、スマートフォン、タブレット等に対応しリニューアルした。



（海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像）



（スマートフォン、タブレット等に対応）

(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション： 毎日（船体整備期間を除く）、日没時から22時まで実施



ライトアップ： 毎日、日没時から 22 時まで実施。

なお、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 (4/2～8) はブルー、  
世界小児がん啓発月間 (9/1) はゴールド、  
手話言語の国際デー (9/23) はブルー、  
パワーバレンタインウイーク (2/9～14) はピンク、  
国際女性デー (3/1～12) はオレンジ色への  
ライトアップ変更を行った。



(ピンクにライトアップされた海王丸)

## 5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、  
友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、  
海洋教室を開催した。

### (1) 青少年錬成事業

#### ・海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	5月	1団体	20人 (うち引率 5人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 マスト登り、カッター訓練
日帰りコース	5～10月	14団体	619人 (うち引率 66人)	
計			639人 (うち引率 71人)	



(手旗信号訓練)



(マスト登り)

### (2) 「帆船海王丸絵画コンクール 2022」の実施

小学生 (射水市内及び県西部の小学生) を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品  
を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 287 作品
- ・入賞作品展示 9月17日～10月23日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月23日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

## 6 海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

- ・2年 12月15日 12人、引率2人
- ・3年 12月13日 12人、引率2人

## 7 イベントの実施（財団主催行事）

### (1) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式（4月8日）

- ・鯉のぼりの掲揚（4月8日～5月5日）
- ・花の迷路の設置（4月8日～11月15日）

### (2) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月3日～5日）

- ・海王丸パーク内にミニ遊園地、エンタメショー、SDGs・カーボンニュートラルクイズ、児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、フリーマーケット等を実施。

来場者約3万8千人。



### (3) 海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念式典（6月12日）

- ・緑のパーゴラにおいて来賓58名ご臨席のもと、くす玉開披、汽笛吹鳴等を執り行った。式典後には、県立新湊高校吹奏楽部による華やかな演奏が披露された。



(記念式典)

(4) 海王丸パークフェスティバル（7月17日～18日）

- ・海の日を記念して、親子展帆体験や海王丸船長との記念撮影、新湊観光船の無料体験乗船等を実施。

来場者約9千人。



(親子展帆体験)

(5) 海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念イベント(8月6日～7日)

- ・記念パネルの展示、県警察音楽隊による演奏、イベント記念「海王丸の総帆展帆」、小中高生による「マーチング鼓笛」、「フラダンスサークル」による踊り等を実施。

来場者約5千人。



(県警察音楽隊による演奏)

(6) 秋のファミリーフェスティバル（9月18日～19日）

- ・海王丸パーク内にミニ遊園地を展開。小型船「なご」よる海王丸一周クルーズや、県児童クラブ連合会による親子工作教室等を実施。来場者約8千人。



(7) パワーバレンタインウィーク in 海王丸パーク（2月9日～14日）

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・「メッセージ入りバレンタイン特別乗船券」発行
- ・進水記念日は乗船料無料、期間中のペアの乗船料半額
- ・バレンタインライブ（2月12日）
- ・特製チョコレートプレゼント（2月11日・12日・14日）

※満船飾（2月14日）は降雪のため中止



(8) 2023年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したA1判カレンダーを1,200部作成し、県内小中学校・旅行者等に配布した。



◎海王丸パークの年間入込数 853,600人

年 度	年間入込数
平成30年度	1,178,900人
令和元年度	1,201,500人
令和2年度	563,500人
令和3年度	577,000人
令和4年度	853,600人

## II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

### 1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

また、ホームページ、フェイスブック等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもPRした。

### 2 探鳥会（4回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年4回実施。うち1回は、野鳥に関する講演会を併せて開催

#### (1) 探鳥会

回	開催期日
1	4月10日
2	11月13日
3	2月19日
4	3月19日

※12月18日は降雪のため中止



#### (2) 講演会

3月19日 探鳥会と同日に実施

講師：利田 益幸氏（富山県生活環境部自然保護課 副主幹・野生生物係長）

演題「行政における野鳥に対する取組について」



#### (3) 年間入込数 2,600人 (R③ 2,610人)

来園者が減少傾向であることから、海王丸パークから野鳥園に誘導する「案内板」を新たに設置した。

#### (4) 野鳥観察指導員登録者数 30人

### Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

#### 1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・50 t テルハ式クレーン保守点検（1回／年）
- ・20 t 自走式クレーン保守点検（1回／年）
- ・ジブクレーン保守点検（日常点検）
- ・浮棧橋保守点検（1回／年）
- ・消防設備保守点検（2回／年）
- ・自家用電気工作物保安管理（1回／月等）
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備（繁忙期：2回／日、閑散期：1回／日）
- ・監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・構内見回り（緑地管理・保管艇管理）、機器の安全点検（1回以上／日）
- ・保管艇増に伴う上記作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保

#### 2 マリーナ保管・利用状況（令和5年3月末現在 登録数 350 艇）

##### (1) 登録数（艇）

区分	陸置艇	競技用小型ヨット	棧橋係留艇	合計
3月末現在（A）	113 艇	85 艇	152 艇	350 艇
保管可能数（B）	157 艇	100 艇	185 艇	442 艇
収容率（A／B）	72%	85%	82%	79%

##### (2) 保管艇内訳（令和5年3月末現在の保管艇内訳）

区分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
保管艇	40 艇	85 艇	225 艇	350 艇
割合	11%	24%	64%	100%

#### 3 利用促進等事業

##### (1) 営業時間の延長（平成29年度から）

4月1日から9月30日までの土日祝については、営業時間を午前8時30分から終了時間を30分延長し午後5時30分までとした。

##### (2) 高圧洗浄機のレンタル（平成21年度から）

利用者へのサービス向上のため実施

##### (3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成22年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額2,100円）を無料としている。

##### (4) ホームページ及びフェイスブック（平成27年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成28年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

##### (5) 国際VHF無線の基地局設置（平成24年度から）

利用者アンケートからの要望により国際VHF無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 早朝開門の実施（令和3年度から）

4月1日から11月30日までの土日祝については正門を午前5時に開門し、利用者の利便を図った。

(7) 修理ヤードの増設

手狭となっていた修理ヤードを陸上保管ヤードの一角（空きスペース）に新設した。

(8) ガイドブックの作成

施設の利用マナーを分かりやすく解説したガイドブックを作成し、契約者に配付した。

(9) その他

- ・製氷機の設置
- ・海上安全指導



製氷機の設置



海上安全指導

5 マリーナ職員による安全対策

- (1) 構内見回り点検（1回以上/日）
- (2) 上下架装置の安全点検（1回/日）
- (3) 荒天時警戒（保管艇）
- (4) 栈橋貝落とし作業（1回/年）
- (5) 緑地公園草刈作業（2回/年）
- (6) 強風時増しもやい作業
- (7) 施設内洗浄作業



(職員による点検)

6 企画事業

(1) 販売艇展示事業

販売艇(10艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図った。



(2) レンタルボート事業

4月1日から12月29日までの間、気軽に富山湾を体験できるレンタルボート事業を実施（平成29年度から実施。）

利用実績 218件

	R④	R③
県外	138件	61件
県内	80件	—
合計	218件	61件



(3) マリンチック街道の認定

平成 31 年 3 月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るという要素を加えたモデルルート認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。